

《旅費関連》 対象:訓練対象者(短期派遣者、語学訓練免除者)

1. 派遣前短期合同訓練にかかる入退所旅費について

- (1)入退所にかかる旅費は各自立替払いとなり、後日赴任経費と併せて支給します。
- (2)JICAの規程に基づき、申告された入所・退所時住所の最寄駅(最寄バス停)から訓練所までの、最も経済的な交通費分を支給します。したがって、実際の交通費(実費)と支給金額は異なる場合があります。
- (3)原則として、訓練直前・直後の日程による順路直行のみが支給対象となります。(自己都合により、移動の日程を変更した場合や、途中の立ち寄りを行う場合、旅費の一部または全額が支給できなくなります。)
- (4)鉄道路線1区間が片道100km以上ある場合は、特急料金及び座席指定料金を支給します。

最寄駅から訓練所までの交通機関や経路はインターネットで検索できます。

参考 URL: <http://transit.yahoo.co.jp/>

	二本松訓練所	駒ヶ根訓練所
訓練所への交通	<p>JR 東北線「二本松駅」</p> <p>二本松駅から訓練所までは公共機関の臨時バス(バス代 500 円)が運行されます。</p> <p>(注1) タクシー利用の場合は 5,000 円程度です。(バス料金との差額は自己負担となります。)</p>	<p>駒ヶ根まで中央高速バスが運行されています。</p> <p>(1)バスタ新宿(新宿駅南口)～ 駒ヶ根</p> <p>(2)名古屋駅～ 駒ヶ根</p> <p>(3)長野駅～駒ヶ根</p> <p>交通費支給は基本的に上記地点からの高速バス料金となります。</p> <p>＜中央高速バス最寄バス停＞</p> <p>(1)「駒ヶ根インターチェンジ」</p> <p>(2)「駒ヶ根バスターミナル」</p> <p>＜JR 最寄駅＞</p> <p>(3)JR 飯田線駒ヶ根駅</p> <p>上記3地点から訓練所までは、訓練所借り上げの臨時バス(無料)が運行されます。</p> <p>タクシー利用の場合は 1,700～2,300 円です(タクシー代は自己負担となります)。</p>
	<p>・訓練所への臨時バス時刻表は各訓練所入所案内で確認してください。悪天候等の事情によりバス利用ができず、他の交通機関を利用した場合は、利用した運賃の領収書を必ず提出してください(但し、上限があります)。</p>	
入所前日及び退所当日の宿泊	<p>(1) 前泊支給対象者:訓練入所当日、住所最寄駅(鉄道駅)から午前 6 時ごろに出発しても、集合時間までに訓練所に到着が不可能な方。</p> <p>(2) 後泊の宿泊料支給対象者:訓練退所当日、速やかに移動しても午前 0 時までに退所時住所最寄駅(鉄道駅)に到着が不可能な方。</p> <p>(3) 宿泊の可否は訓練所に入所後、JICA で判断します。宿泊可否通知は行いません。前記検索サイトの検索結果を参考にしてください。やむを得ない理由による宿泊であると JICA が認め、後日支給対象となる場合は、JICA 規程に基づき宿泊料(定額 8,200 円)を支給します。</p> <p>宿泊先の予約:ホテル等を利用する必要がある場合は各自で予約してください。</p>	

航空機 の 利用	<p>(1) 国内線利用対象者:本州以外から入所または本州以外に帰省する方 (但し、一部下表の通り対象外の方もいます)。</p> <p>(注1) 離島の方の場合で離島と本州間は空路対象でも、本州内の移動は陸路となります。</p> <p>対象者については、航空賃(普通・一般席の実費)を支給しますので、各自立替払いで航空券の手配を行ってください。その際、前日までに予約可能な最も安価な運賃(正規割引運賃 例:特便割引など)を利用してください。(但し、最も安価な運賃利用のために、順路直行を変更する必要はありません。)</p>	
	(2)入所時到着空港及び退所時出発空港	
	入 退 所 の 地域	<div>二本松訓練所</div> <div>駒ヶ根訓練所</div>
	北海道	<div>仙台空港</div> <div>※函館近郊者は空路利用不可</div> <div>※女満別、稚内、根室中標津、釧路空港</div> <div>利用者は羽田空港の利用も認める。</div>
	本州	<div>空路利用不可</div> <div>空路利用不可</div>
	四国	<div>羽田空港(もしくは仙台空港)</div> <div>https://transit.yahoo.co.jp/で検索した最も安価な経路の旅費を JICA は支給いたします。</div> <div>空路利用不可</div>
	九州・沖縄	<div>羽田空港(もしくは仙台空港)</div> <div>https://transit.yahoo.co.jp/で検索した最も安価な経路の旅費を JICA は支給いたします。</div> <div>中部国際空港</div> <div>※福岡県の方は航空機利用不可</div>
	<p>(注1) 上記以外の空港は利用不可。</p> <p>(注2) 入所時住所の最寄空港と退所時住所の最寄空港は当該住所から最も近く、交通費が最も安価な空港を利用するものとします。(原則、当該住所のある道府県の空港とします)。</p> <p>(注3) 駒ヶ根訓練所入所者で佐賀県在住者は、佐賀空港からは中部国際空港への直行便がないため、福岡空港を利用するものとします。</p>	
	<p>(3) 証憑書類</p> <p>航空機利用の場合、下記の 2 点の提出が必須です。「航空機/船舶利用者(領収書・搭乗券残券)貼付用紙」に貼付して提出してください。2 点がそろわない限り旅費の支給はできません。</p> <p>①航空機の領収書(オリジナル)</p> <p>【航空券購入者名(搭乗者名フルネーム)と購入金額が明記されているもの】</p> <p>(注)連名の領収書は不可。各自、ご自身利用分の領収書を提出してください。領収書はできるだけ往路分と復路分を別々に発行してもらってください。(往復の領収書の場合は、退所後の復路の支給と同時に支給します。)</p> <p>復路を予約する際は、解散(退所)時間帯に注意してください。</p> <p>②搭乗券残券(オリジナル)</p> <p>【搭乗した日時・便名が明記されているもの。E チケット・お客様控えは不可】</p>	

	<p>(4) 証憑書類の提出:</p> <p>入所の際に利用した分(往路分)は入所時に各訓練所担当者に提出してください。</p> <p>退所の際に利用した分(復路分)は訓練所スタッフの指示に従い提出してください。</p> <p>(注1) 国内航空券の購入については、原則 JAL(日本航空)あるいは ANA(全日空)のホームページから割引航空券を購入してください。上記 2 社便の予約が取れない等の事情がある場合は、利用する航空会社のホームページから正規割引航空券を購入してください。(格安航空会社の航空券を購入した場合は、手荷物料金など、一部経費が不支給となる場合があります。)</p> <p>(注2) (注1)以外の方法により国内航空券を購入した際、取扱いにかかる手数料及び送付料等を請求される場合があります。当該費用について、旅行代金の一部として支払ったことが領収書で確認できる場合は、実費額を支給します。なお、領収書が合計金額のみですと、取扱いにかかる手数料等を確認することが困難な場合があります。領収書に金額の内訳(運賃、手数料など)を明記する、もしくは内訳が明記された書類(予約時の旅定表等)を、領収書と併せて提出してください。</p> <p>(注3) 宿泊がついたパッケージの領収書は原則として受け付けできません。</p> <p>(注4) 各航空会社のマイレージで航空券を入手した場合は、航空賃を支給できません。</p> <p>E-チケットで購入の場合、搭乗券が発券されない事例もありますので、搭乗券(もしくは搭乗券に代わるもの)を受け取れるよう購入時に確認してください。搭乗券が発券されない場合には、搭乗証明書もしくは保安検査場を通過する際に端末機から出てくるレシート「ご搭乗案内」を取付けてください。</p>
船舶の利用	<p>(1) 証憑書類:離島から入退所する方で船舶を利用する方は船舶の領収書(オリジナル)のみを「航空機/船舶利用者(領収書・搭乗券残券)貼付用紙」に貼付して提出してください。JICA 旅費規程に基づいた額を上限に支給します。</p> <p>(2) 提出先:</p> <p>入所の際に利用した分(往路分)は入所時に提出してください。</p> <p>退所の際に利用した分(復路分)は訓練所スタッフの指示に従い提出してください。</p> <p>(注)船舶を利用して本州に到着する場合、本州からの移動は陸路となります。</p>

2. 「旅費算出データ」の記入、提出について

【旅費算出データ】は、皆様に交通費をお支払いするための基本データとなります。

記載に誤りがあると正しい旅費を支給することができません。

様式のチェック項目にそって、正しく記入を進めてください。

また、提出後に内容に変更がある場合は、速やかに申し出てください。

様式は、「短期派遣者向け 旅費算出データ」をダウンロードして入手してください。

- (1)「最寄駅」欄は、訓練所入退所時に実際に利用する駅を記入してください。離島の方で、船舶を利用する方は、最寄港名を記入してください。
- (2)「最寄駅」欄は、訓練所入退所時に鉄道以外の手段で移動する場合でも、必ず記入してください。(旅費計算の基本情報として必要です。)
- (3)最寄駅までバスを利用する場合は、経路欄にバス停名、料金、バス会社名、バス路線名を記入してください。
- (4)出発時住所が本州以外の方は、赴任時国内線利用対象者となります。入退所時に空路を利用しない場合でも、「最寄空港」欄と「最寄空港までの経路」欄を記入してください。
- (5)空港まで自家用車を利用する場合は、「☐自家用車」にチェックを付けてください。
- (6)空港まで鉄道とバス(鉄道のみ、バスのみ)を利用する場合は、実際の経路を記入してください。
- (7) 訓練所入所時、退所時、出発時(赴任時)で経路が異なる場合で様式に記載不可能な場合は、備考欄に記入してください。

3. 赴任時国内旅費について

- (1)「旅費算出データ」で申告された「出発(赴任)時住所」の最寄駅(最寄駅までバスを利用する場合には最寄バス停)から出発国際空港(成田または羽田)までの旅費を、JICA の規程に基づき最も経済的な路線分を支給します。
- (2)「出発(赴任)時住所」は原則「退所先住所」と同じです。異なる場合は理由を「旅費算出データ」の様式に沿って記入してください。
- (3)順路直行(指定の場所を出発し、立ち寄りせずに目的地まで直行で移動すること)をせず、自己都合により、日程・経路を変更した場合は、原則として旅費の一部または全額が支給できませんので、注意してください。

4. 赴任時の国内線航空機利用について

赴任時国内線航空機利用対象者とその利用空港及び利用便については、JICA が旅費算出データをもとに経済性・効率性等を勘案し、決定します(従って利用空港が【旅費算出データ】記載の空港と異なる場合があります)。国内線と国際線の航空券は併せて JICA が手配するので、各自で購入しないでください。

なお、自己都合により、国内移動の日程及び経路を変更することはできません。JICA が指定した日程及び経路を変更した場合は私的旅行となり、国内移動にかかる旅費(航空賃、交通費、日当、宿泊料)は不支給となります。また、変更にかかる経費(キャンセル手数料、払い戻し手数料等)を自己負担してもらいます。JICA が定める順路直行経路により移動しない場合、赴任時住所から出発国際空港までの移動途中に事故や災害にあっても、労災保険および JICA 災害補償制度は適用されません。

5. その他(経費の振込について)

選考時に申告した銀行口座を使用します。ボランティア本人名義の口座に限ります。

5-1 銀行口座の使用目的

- (1) 訓練入退所に係る旅費振込
- (2) 表敬旅費振込(語学訓練免除者のみ)
- (3) 赴帰任経費振込
- (4) 国内手当振込(派遣期間中)(注)有給休職者及び自営者を除く
- (5) その他(任国に着任してから帰国するまでに生じた予防接種料補助、帰国経費振込など)

5-2 注意点

- (1) 名義変更の必要が生じた場合、必ず入所前までに手続きを済ませてください。
- (2) 帰国して数ヶ月は口座の解約はしないでください。
- (3) 訓練所入所後、派遣中に統廃合により金融機関名及び支店名が変更となった場合は、訓練中は訓練所に、派遣中は青年海外協力隊事務局海外業務第1・2課に必ず変更の連絡をしてください。(少なくとも振込予定日の10日以上前に連絡が必要です。それ以降の連絡では、振込後の変更となりますので注意してください。)
- (4) 複数銀行への振込はできませんので、ご注意ください。

6. 支度料

支度料は、本邦出発日から起算し過去1年以内にJICAまたは国から支給を受けている場合、その額を差し引いた額を新たに支給いたします。ただし、派遣期間が1カ月未満の場合は、支度料は支給されません。また、派遣後に派遣期間の延長が行われても支度料は追加支給できません。旅費算出データの支度料欄の記入の際は、支度料以外の交通費等の額を記入されないようご注意ください。差し引いた額を支給後、誤記入が発覚した場合でも追給は致しません。

以 上

[参考] 自己都合により、日程・経路を変更する事例

下記ケース1～4のように自己都合により日程・経路を変更した場合、入所・退所・赴任時いずれも、原則として旅費の一部または全額が支給されませんのでご注意ください。やむを得ない事情で日程・経路を変更せざるを得ない方は、事前にご相談ください。

ケース 1	出発時・帰着時に旅費算出データに記入した最寄空港以外を利用する場合。 (但し、最寄空港へ直行便がなく、乗り継ぐ場合は経路変更とみなさない)
ケース 2	・ 往路にて訓練初日、午前 6 時に最寄りの鉄道駅出発で集合時間に到着可能だが、自己都合で訓練前日以前に出発する場合 ・ 復路にて訓練修了日中に帰着可能だが、自己都合で到着が最寄りの鉄道駅深夜 0 時を超えて帰着する場合 ※ただし自己負担等で前泊・後泊するため日程変更がある場合は、事前相談の必要はありません。ただし 2 日以上、移動日が変わる場合は事前にご相談下さい。
ケース 3	「航空機の利用」(2) 入所時到着空港及び退所時出発空港」で定められた空港以外を利用する場合。
ケース 4	国内線利用対象者だが航空機を利用せずに陸路(鉄道)を利用する場合。